



経営探訪
Management Report

株式会社 オーエスイー

持ち前の技術力で実証実験 中小加工企業の課題解決を目指す

超精密部品加工の技術を活かし
多様な形状のテスト加工を実施。
製造業の技術革新の一端を担う

秋田市飯島に本社を構える株式会社オーエスイー。昭和59年に創業し、自動車関連や半導体部品など幅広い分野の超精密部品加工を行ってきた歴史を持つ。現在はアルム株式会社(石川県金沢市)の100%完全子会社となっている。現在の社長であり、アルム株式会社の代表を務める平山京幸さんは、先代の社長から相談を受けて平成27年にM&Aを行った。その経緯と今後についてお話を伺った。

中小加工企業にこそ自動化技術が必要

株式会社オーエスイーとアルム株式会社は、もともと外注先と発注側という関係だった。アルム株式会社にとっては一番の外注先であったという。平山さんは、平成18年にアルム株式会社を創業。大手メーカーの国内外の工場に向けた自動車や携帯電話の生産ラインの自動化設備の設計製造を事業として行っていた。リーマンショックの影響で、取引先であった加工企業が続々と倒産・廃業を余儀なくされるのを目の当たりにし、自動化が必要なのは中小企業のほうではないかと考えるようになった。

「小さな鉄工所などの製造業では、アナログで職人の勘に頼っており、生産性が低い。デジタルとは程遠い状況で、作業

の効率化には多くの人の目が必要でした。これから人手はもっと少なくなる。中小企業こそ、私たちが手助けすべきなのではと考えました。」

形状解析をデータ化 開発に4年をかける

平山さんは製造業の工程について、さまざまな企業を訪問して実情をリサーチ。デジタル技術を用いて生産性を向上させるためのソフトウェアの開発に着手した。

「人の目や勘に頼らなければならない工程を含め、16の工程を抽出しました。そのうちの形状解析がとても難しかった。材料から削り出す工程で求められるものです。3Dデータをコンピューターに理解させる手法だけは、自分では実現が難しく、神戸大学の西田勇准教授に協力を依頼して4年がかりで開発しました。」

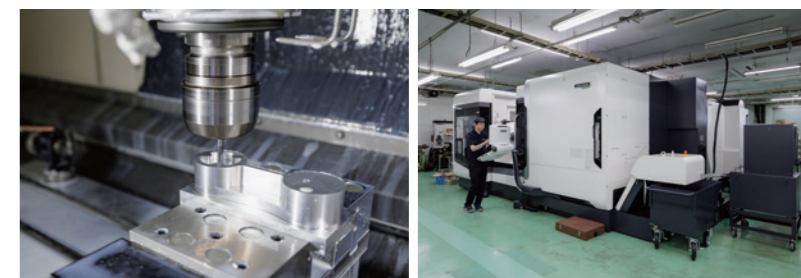
それにより開発されたのが「ARUMCODE」。図面データを読み込ませることにより、加工に必要なNCデータに変換させることができる。ARUMCODEを使うことでこれまで16時間かかっていた作業を30分で実現できる。業界にかなりのインパクトを与えた。

取引先だったオーエスイーを M&Aで完全子会社化

オーエスイーの先代社長との会話から経営が苦しいことを知った平山さんは、M&Aを申し出た。その目的は救済と、



M&A前からオーエスイーに所属しているスタッフが今も活躍している。20年以上の経験を持つスタッフが多数。



広々とした工場内には、工作機械などが配置され、テスト・検証を重ね部品を作り出している。

自ら開発したソフトウェアのテスト・検証ができる工場の取得だった。それにより令和2年からはARUMCODEのテスト検証をメインとした業務内容に切り替え、赤字だったオーエスイーは、3期連続の黒字となっている。

ARUMCODEは令和3年9月にオンプレミス版を発売。ドイツで行われた展示会でも大反響を得た。中小企業での導入促進を目指し、現在はサブスクリプション版のリリースも行い、安価での提供を実現。さらに工具の消耗具合のアラート機能や材料の発注機能の実装も予定しており、工作機械そのものの開発もアルム株式会社で手掛けているという。

「世の中で求められている部品の形状は無限にあります。今後もテスト・検証を続けていき、製造業の完全自動化に貢献していきたいと思っています。」

平山さんの思い描く未来を実現するため、株式会社オーエスイーは欠かせない存在なのだ。



株式会社 オーエスイー
代表取締役 平山 京幸

〒011-0916
秋田市飯島穀丁大谷地1-28
TEL.018-846-8250 FAX.018-847-1977
<https://arumcode.com/>

◎業務内容 ARUMCODE事業の研究・開発
超精密部品加工

◎親会社 アルム株式会社
〒920-8204
石川県金沢市戸水1-61